

学校だより(いしがき)

第18号 令和3年10月8日
文責: 校長 石橋 節二 TEL94-2038

学校教育目標

「ふるさと中原を担う生徒の育成」

～自律と共同を通して～

今回の学校だよりは、生徒会長候補立会演説及び投票、文化発表会について〈お知らせ〉、格言 戦国武将編パート4(小早川隆景)、故事成語⑦「漁夫の利」、佐賀新聞「有明抄」桂小金治さんの話より、新聞難解語句、難読漢字、10月中旬~11月のおもな行事について紹介します。

○生徒会長候補立会演説

9月29日(水)の5校時に、生徒会会長候補の立会演説会と投票を行いました。今年も昨年同様、新型コロナ感染拡大防止ということで、視聴覚室で立会演説を行っている様子を各クラス電子黒板で視聴する形式をとり、投票場も学年ごとに分けました。

今回、クラス推薦を受けた4名が立候補し、立候補者全員の演説と応援演説が行われましたが、どの候補も公約を堂々と述べることができました。

投票の結果、生徒会長は濱尾君が選ばれました。これから本部役員や各委員会委員長が決まっていき、3年生の旧役員の人たちの援助を受けながら、学校を徐々にリードしていくこととなります。



【投票の様子】

○文化発表会について〈お知らせ〉

今年の文化発表会のテーマは、生徒に募集し「#My color~多種多様な世界~」に決まりました。このテーマには、「それぞれの個性(My color)を皆に広げ、伝えるという意味で、SNSで使われる#(ハッシュタグ)を入れ、中原中の人々のいろいろな個性を生かし、いろいろな色が見られる文化発表会にしたい」という願いが込められています。9月10日付けの学校だより(いしがき)第15号でもお知らせしましたように、**10月29日(金)③~⑤校時の時間帯**で中原中学校文化発表会を行います。今年の文化発表会は、コロナ禍の中で9月の音楽の時間に合唱練習ができず合唱コンクールをどうするのか検討中のため、各学年劇と展示が中心となります。また、新型コロナ感染拡大防止の観点から、学年劇や総合学習発表は事前に動画で収録し、各教室の電子黒板で視聴します。保護者の方々に動画配信ができないかと調べてみたところ、著作権の問題等が発生するので動画配信を広く行うことは難しいことが分かりました。**ですので、保護者の参観は、体育館に電子黒板を設置し、密を避けるため学年別に時間帯を分け観覧ができるようにしたいと思えます。**

文化発表会の練習は、中間テストや地区駅伝大会終了後の10月11日(月)からの予定です。プログラムにつきましては、決まり次第保護者の皆様にお知らせしたいと思います。今年も保護者の皆様にご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力よろしくお願いいたします。

○格言 戦国武将編パート4(小早川隆景)

すぐわかりましたという人間に、わかったためしはない。

小早川隆景は中国地方のほぼ全域を支配した毛利元就(三本の矢でも有名)の第三子です。隆景は、「意見を聞いてすぐに『ごもっともです』『その通りです』という人ほど本当はわかっていない。」と述べています。本当に人の意見を聞く者は、納得いかないことは何度でもダメ押しする。わからないことがあっても『こんなことを聞いては相手が気を悪くするのではないかと考えるのは、本気でその意見を聞いていない証拠なので、そういう部下は信用しないという部下に対する教えでした。

仕事で失敗しないためには、「わからないことがあったら遠慮せず納得いくまで聞くという姿勢が大事である」と厳しく諫めています。



【漢字よみ】①ちょうず ②いき ③いいなづけ ④のし ⑤かし ⑥へんれいきん ⑦なこうど

○故事成語⑦

漁夫の利（ぎよふのり）

【意味】二者がお互いに争っているすきに、第三者がもうけや利益を横取りすること

【由来】

蘇代（そだい）が燕（えん）の国の恵王（けいおう）に語ったたとえ話に由来します。「はまぐり」が口を開けていと「しぎ」という鳥が来て「はまぐり」に食いついた。一方で「はまぐり」は自分の口を閉じて「しぎ」のくちばしをはさんだ。こうして、「はまぐり」と「しぎ」がお互いに放そうとせず争っている間に、漁師があらわれて、簡単に「はまぐり」と「しぎ」を捕まえてしまったということから、この語ができました。（戦国策）

○佐賀新聞「有明抄」落語家 桂 小金治（かつら こきんじ）さんの話より

生徒の皆さんたちは、「我慢」（がまん）と「辛抱」（しんぼう）について考えたことがありますか？9月12日の佐賀新聞「有明抄」に落語家の桂小金治さんのエピソードが紹介されていました。落語家 桂小金治といっても生徒の皆さんたちはピンとこないかもしれませんが、私たちの世代では、テレビのアフタヌーンショーの司会者として大活躍されていたイメージがあります。有明抄では、桂小金治さんの子供の頃の話が紹介されていました。それを読んで、私自身なるほどと思いましたので、紹介します。以下は新聞記事引用です。



『落語家の桂小金治さん（1926～2014）は子どもの頃、父にハーモニカをねだったことがある。父は「こっちがもっときれいな音が出る」といって草笛を吹いた。「お前もできるはず」と言われた小金治さん。練習したがうまくいかず、3日であきらめてしまふ。◆そのことを知った父が言う。「一念発起は誰でもする。とりあえずの実行もする。努力までならみんなする。そこから一步抜きん出るためには、努力の上に辛抱という棒を立てる。この棒に花が咲く」と◆小金治さんは再び練習し吹けるようになった。父に報告した翌朝、枕元にハーモニカが置いてある。父は「努力の上に辛抱という棒を立てたんだ。花が咲くのは当たり前」。母に報告すると「お父さんは3日前にハーモニカを買っていたよ。あの子は絶対に吹けるようになるってね』

有明抄では、『「我慢」はやりたくないことをこらえる負のイメージ、「辛抱」はやりたいことを実現するプラスのイメージを感じる』と書いてありました。

生徒の皆さんは、勉強や部活動、進学や将来の夢などいろいろな目標をもっていると思います。一念発起、とりあえずの実行や努力に終わらず、そこから一步抜きん出るために努力の上に辛抱という棒を立て、夢実現のために取り組んでみてください。

○新聞難解語句

胡散（うさん）：あやしい、疑わしいという意味で、胡散臭いは何となく怪しい、どこか疑わしくて油断できないときに使われる表現。

交替（こうたい）：替わりばんこ。1日交替、交替勤務等。

交代（こうたい）：入れ代わり引き継ぐこと。ピッチャー交代、世代交代。

改訂（かいてい）：本の内容を訂正する。辞書の一部を改訂する。

改定（かいてい）：決まりなどを変える。料金改定等。

パンデミック：広範囲に及ぶ流行病。世界的大流行。

○難読漢字（いくつ読めますか？）

①手水 ②粹 ③許嫁 ④熨斗 ⑤瑕疵 ⑥返戻金 ⑦仲人

○10月中旬～11月の行事予定

※太文字は全校生徒関係分

- ・文化発表会練習開始 10/11（月）～
- ・教育相談スタート 10/14（木）～11/9（火）
- ・中原中学校文化発表会 10/29（金）
- ・3年生三者面談スタート11/16（火）～
- ・2学期末テスト 11/24（水）～26（金）
- ・3年生 SAGA テスト 10/12（火）、13（水）
- ・新入生対象学校説明会 10/15（金）
- ・3年生進路説明会、激励会 11/4（木）
- ・火災想定避難訓練 11/17（水）
- ・スタントマンによる交通安全教室 11/30（火）